



### 母の日

カーネーションを見て「きれいなお花  
ですね」と会話が弾んでいました。

♡お母さん、いつもありがとう♡

Happy Mother's Day

お母さんいつも  
ありがとう



### 5.16 デザートバイキング

バターライス クリームシチュー  
九州産華味鶏ささみカツ  
トマトサラダ

来月のお食事もお期待ください！

## 第7回 介護保険制度について ユニット型特養って？

生活支援課の古屋です。今回、私達が運営するユニット型特養とはどんなところなのか、改めてご説明させていただきます。ユニット型特養とは、ユニットケアと呼ばれる介護手法の実現を目的としています。各入居者の個性や生活リズムに合わせて生活をサポートすることが、ユニットケアの内容です。ユニット単位に固定で配置された介護スタッフがサポートを担当します。入居者が大人数で集団生活を送る従来型特養と比べて、在宅に近い環境が整えられているため、入居者にとって過ごしやすい空間を維持できます。

メリットとしては・・・

- ① 入居者に合わせて個別にケアをしてもらえる・プライバシーが確保されている  
皆さんと共同生活室(リビング)で過ごしたい、個室で静かにしたい等
- ② 比較的新しい建物であることが多い  
わかくさも R5 年 7 月で丸 3 年になります
- ③ スタッフや入居者と顔なじみになり関係を構築しやすい  
スタッフも入居者としてしっかり関係性を構築していく事ができます

デメリットとしては・・・

- ① 人間関係のトラブルが発生すると、居心地が悪くなるおそれがある  
毎日のように顔を合わせるのでトラブルが発生しないような対応が求められます
- ② 従来型特養と比較して費用が割高になりやすい  
原則個室ですので、従来型(大部屋)より費用が高くなる傾向にあります

全ての事柄にはメリット・デメリットがあるかと思います。その中で、少しでも入居者の方々に快適に生活して頂けるよう努めてまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

### 特養わかくさ委員会紹介 【褥瘡委員会】

特養わかくさの中では、各委員会が設置してあります。その中でどのような事が議論されているのか、皆様に少しお伝えが出来れば良いと思っており「わかくさニュース」に載せる事となりました。記念すべき第1回目は褥瘡対策委員会のお話をさせていただきます。

入居者の方々は高齢になり、皮膚も弱くなっています。また、臥床時間も長くご自身で体位交換を行えない方も多くいらっしゃいます。そのような方々に対して、発赤や皮膚剥離・傷等が出来ていないか等を観察しチェックしている委員会です。

寝たきりの方にはエアーマットという柔らかいマットレスの導入の検討や、月に1回の委員会開催日には委員会メンバー全員で「褥瘡回診」と銘打って褥瘡処置の方法を看護師から見て学んだりしています。また、クッション等を用いてポジショニングも委員会の中で検討しています。

年齢を重ねていく毎に、緩やかにADL(日常生活動作)も下がっていきます。その中で、少しでも褥瘡発生を起ささないように対応を検討している委員会が、褥瘡対策委員会です。

褥瘡対策委員会 委員長 古屋 幸佑

### 随 想

私は幼いころから富岡、能見台（昔は谷津坂と呼んでいた）、杉田といったところで友人たちと遊びまわっておりました。あの頃（1980年代）は富岡や能見台といった所は今と比べて宅地造成もされていない所も多く、自然と触れ合いながら遊んでいたように思います。この事を息子の友人の父親（いわゆるパパ友）で私と同年代である方達と話をする懐かしさのあまり話が弾んでしまうことも多々あるのですが、とあるパパ友が「昔はよくザリガニを取って遊んでいたなあ。」と。確かにあの頃はいろんなところで木の枝に紐をつけてスルメを餌にしてザリガニ釣りをやっていました。今の能見台駅前にある大型スーパーの所や富岡にある某小学校があるところには小さな沼や溝が多くあり、よく取っていたと記憶しています。

今は果たして何処でザリガニが取れるのだろうか？（まだ取れると事はあるかとは思いますが・・・）今の子供たちはザリガニの持ち方を知っているのだろうか？あのザリガニ達は今何処に...



介護課長 櫻井 裕之

わかくさの理念「ともにあなたらしさの虹をえがく」  
基本方針  
・良質なサービスを提供します・向上心を持った職員が接します  
・地域との連携を図ります  
・笑顔が絶えない施設をつくります